

開かれた議会を目指して  
～令和5年度 議会報告会・意見交換会～

【報告書】

1	議会報告会・意見交換会の概要	.....	P 1
2	会場別報告書	.....	P 2 ～ P 12
3	参加者アンケートの集計結果	.....	P 13 ～ P 16

太田市議会

議会報告会・意見交換会実行委員会

## 1 議会報告会・意見交換会の概要

- (1) 主 催 太田市議会
- (2) 日 時 令和6年1月13日(土)  
午後2時00分～午後3時30分
- (3) 会 場 太田市役所
- (4) テーマ ① 行政のデジタル化について  
② スポーツを通じたまちづくりについて  
③ 介護サービスについて  
④ デジタル地域通貨OTACOについて
- (5) 参加者数 ① 行政のデジタル化 8名  
② スポーツを通じたまちづくり 14名  
③ 介護サービス 16名  
④ デジタル地域通貨OTACO 8名
- (6) 次 第 1 開 会  
2 あいさつ  
3 テーブルごとに意見交換  
・自己紹介  
・意見交換  
・まとめ、発表  
4 閉 会

※ 意見交換会を中心としたため、書面の配付をもって議会報告に代えさせていただきます。意見交換会は、議員と市民が少人数のグループに分かれて自由に意見を出し合う、グループディスカッション方式で実施しました。

## 2 テーマ別報告書

### 「行政のデジタル化について」

#### ■参加議員

【司会進行】 木村浩明

【Aテーブル】 ◎前田純也／山田隆史／清水梨花

【Bテーブル】 ◎長 正祐／矢部伸幸／高野博善

※ ◎はテーブルリーダー

#### ■テーブルごとの主な意見【テーブルリーダーの報告より】

##### 【Aテーブル】

##### ● 太田市のホームページが見つらい

- ・ トップ画面から自分の調べたい項目にたどり着けず、迷子のようにになってしまう。
- ・ グーグルなどで「太田市 ○○」などと検索した方が探しやすいと感じるが、デジタルが苦手な人にもそう言ったコツが周知されると良い。
- ・ 他の自治体で好評なホームページを参考にしてほしい。

##### ● 行政のDX化による利便性について

- ・ 市のグラウンドなどはサイトで空き状況を調べたり借りたりすることができて便利だが、学校の体育館はそれができないのは不便。グラウンドなどと同様に電子申請を利用したい。
- ・ デジタルで申請できることについて、一覧表のようなだれにでもわかりやすい案内が必要。
- ・ 夜間や休日など、市役所や行政センターが開いてないときにスマホなどから手続きができるのは大変便利。窓口で並ばずに済むようになったが、高齢者など幅広い層に周知されていない。今後予定されている福祉や医療分野への拡大についても、まったく知られていないので、積極的な告知に力を入れてほしい。
- ・ 太田市公式LINEについては、存在は知っていたがメリットはよくわからず、自分のスマホにアプリを増やすことには慎重になっていた。

- デジタル人材をもっと登用してほしい
  - ・ 学校や教育委員会の中でデジタルに強い人材の登用を増やし、DX化推進がもたらすメリットが実感しやすく、周知や理解が広がる環境を整備してほしい。
- 「GIS（地理情報システム）」を活用する
  - ・ バスの運行状況などの公共交通機関のリアルタイムな情報が得られるようにしてほしい。高齢者やデジタル無関心層に関心を持ってもらうきっかけになることが期待できる。
  - ・ 有事の際に状況把握や避難場所などのリアルタイムな情報展開を駆使して、災害に強い市にしていくために活かすべき。

#### 【Bテーブル】

- 太田市のホームページが見づらい
  - ・ トップ画面から入ると、知りたい情報に辿り着きにくい。
  - ・ リニューアル前の方がよりシンプルでわかりやすかった。
  - ・ アクセス数の多さなど人気の高い項目をトップ画面にあげてほしい
- マイナンバーカードの活用幅を広げる
  - ・ 高齢者にとっては理解が難しい。取り残された人へのフォローも。
  - ・ マイナポイントは普及の良いきっかけになったが、今後もメリットをつけることが必要。
  - ・ 暗証番号やパスワードの設定がわからなくなったときにお手上げとなる。特殊詐欺への不安があり、迂闊に他人に相談できない。家族からも面倒がられ、放置しがちになってしまう。
  - ・ デジタルが苦手、または無関心な人の中には、相談もしようとしない人が一定数いる。
  - ・ スマホユーザーにカードは不要。現状のデジタル化は中途半端に思える。
- SNSでの情報発信、太田市公式LINEをもっと活用する。
  - ・ SNSは情報過多や偏り、デマなど真偽への不安から利用に慎重な人も多いので、不安を解消するための工夫を。
  - ・ 太田市公式LINEは基本的に良いと感じるが、利用する年代は中年以下の若年層であり、高齢者との情報格差の広がりを生みかねない。利用者の多い年齢層などを調べて問題点を探る必要性を感じる。
  - ・ 太田市公式LINEからの通知が多すぎると、ミュートしたり退会することに繋がりやすくなるので、情報の量と質のバランスをよく考えてほしい。
  - ・ 太田市の公式SNSの存在をもっと周知させるべき。

● DX 推進の狙いやメリットについての理解

- ・ 行政のデジタル化が進むと人（役所職員）が減る効率化ではなく、業務の効率化で役所職員の作業負担を軽減し、その分を市民サービス向上に繋げるものであるという本質をもっと伝えるべき。
- ・ 行政の DX 化そのものについてよく知られていない。関心のない人へ周知することを考えないと、情報格差が広がったままになる。
- ・ 「国からお金が出て、奨励されるからやっている」というものになってはいないか？そう自問して立ち止まる意識も必要。国際的に遅れていると指摘されがちだからと言って、焦って進める必要はないのでは？マスコミの報道の仕方にも疑問を感じる。民間企業のような効率化をはかる意識を持って取り組んでほしい。
- ・ 個人情報が集約される不安に対する対応を行政が伝え切れていない。
- ・ 市役所の窓口が以前より混まなくなったとの印象から、DX 化のメリットを実感。証明書のコンビニ交付は便利だが、いまだに広く知られているとはいえない。

## 「スポーツを通じたまちづくりについて」

### ■サブテーマ

- ① スポーツを通じた地域交流・健康づくりについて
- ② 本市のスポーツ施設の充実について
- ③ 本市のスポーツ教育について

### ■参加議員

【司会進行】八長孝之

【Aテーブル】◎白石さと子／大川敬道／若林卓実

【Bテーブル】◎久保田俊／高木きよし／高橋えみ／川岸靖隆

※ ◎はテーブルリーダー

### ■テーブルごとの主な意見【テーブルリーダーの報告より】

#### 【Aテーブル】

- ① スポーツを通じた地域交流・健康づくりについて
  - ・ ラジオ体操で交流はどうか
  - ・ 金山ウォーキングを広めてみては
  - ・ 地域活動としては役員のなり手不足が課題である
- ② 本市のスポーツ施設の充実について
  - ・ 学校以外の体育館を増やしてほしい
  - ・ スパーク太田みたいな施設を作ってみてはどうか
- ③ 本市のスポーツ教育について
  - ・ スポーツ教育の環境を地域全体で守る体制をつくっていければ
  - ・ 本市出身のプロスポーツ選手と身近にふれあえるイベントを増やして

#### 【Bテーブル】

- ① スポーツを通じた地域交流・健康づくりについて
  - ・ ラジオ体操で交流はどうか
  - ・ 本市には、おたん体操もあるので活用してみては
  - ・ 総合型生涯スポーツの普及と振興
  - ・ 本市の広報誌を活用し、各地域のスポーツを案内して参加者を増やす

- ・ グランドゴルフは休憩時間で仲間との会話を楽しむ等老化予防にもなる

② 本市のスポーツ施設の充実について

- ・ 旧太田市には、社会体育館がないので計画してほしい
- ・ ボッチャを行う施設が少ない。行政センターでもできるが予約が取れない
- ・ 民間施設を借りて、生涯スポーツ行う努力もしている
- ・ 公園でラジオ体操を実施したら、隣家から苦情があった
- ・ 本市内にある公園の利活用

③ 本市のスポーツ教育について

- ・ ラジオ体操の第2まで教えられる人が少ない
- ・ ラジオ体操を教える方への学びの場をつくってみてはどうか
- ・ 生涯スポーツの普及と振興のための各地域のリーダーが不足している
- ・ 生涯スポーツの指導者の養成は、宝泉地区で実施している

## 「介護サービスについて」

### ■サブテーマ

- ① 高齢者介護について
- ② 障がい者介護について
- ③ 介護をしている方の支援について

### ■参加議員

【 司会進行 】 松浦武志

【Aテーブル】 ◎高田靖／水野正己／岩瀬僚

【Bテーブル】 ◎星野一広／渡辺謙一郎／山水めぐみ

※ ◎はテーブルリーダー

### ■テーブルごとの主な意見【テーブルリーダーの報告より】

#### 【Aテーブル】

##### ① 高齢者介護について

- ・ 介護職員の給料について、上がってはいるがまだまだ低い水準にある。
- ・ 誰でもできるような仕事と思われているが、全然違う。
- ・ 介護卒業に繋がる「自立支援事業」のためのインセンティブ制度について、東京や関西では導入されているが、太田市でも導入を検討すべきではないか。
- ・ 自立支援や重度化防止の取り組みにより介護度の改善を図った事業所について、ランキング形式で公開してはどうか。
- ・ 介護度の決定まで時間がかかり過ぎるので、改善してもらいたい。
- ・ 認定審査委員会の審査がブラックボックスのように思える。審査委員名や審査内容を公開すべきでは。
- ・ 事業所においては、要介護度5の人が更新により要介護度4になったとしても、同様のサービスを提供しなければならず、事業所としての収入が減ってしまう。このままでは、求められるサービスを提供し続けることは困難である。
- ・ 要介護度が出るまでの暫定給付の決定が遅い。職員のスキルアップが必要である。
- ・ 福祉施設でのネイルは効果があるという科学的データもあるので、公的補助により利用できるようしていただきたい。

- ・ 施設を探すのが大変。市に聞いても事業所一覧と申込者数、待機者数のみで、事業所がどのようなサービスを行っているのかわからない。市が事業所の特徴などをまとめて公開してもらいたい。

## 【Bテーブル】

### ① 高齢者介護について

- ・ 免許証の返納により、通院、買物に行けない。移動販売もあるが、一部地域のため、全域にあるといい。
- ・ 免許証の返納で身動きがとれなくなり、生活に支障が生じた結果、認知症や持病悪化につながる危険性がある。共働き家族も増え介護まで手が回らない家庭や介護する側も高齢化する老老介護も増加している。
- ・ ケアマネージャーやヘルパーなどの担い手不足。介護の仕事についての魅力発信や人材確保の仕組みづくりが必要である。
- ・ 総合事業の対象が要支援1，2から要介護1，2になるという話がある。介護保険の改定は、介護保険料や利用者負担に影響するため、市民への積極的な情報発信に努めていただきたい。
- ・ 市ではデイサービスに代わる事業を推進しているとのことであるが、近所付き合いも希薄化している中で、地域で生活支援を行うことは困難である。

### ② 障がい者介護について

- ・ 発達障害は早期に発見して専門医療・専門教育が必要。福祉全体の質を高めることが大切である。
- ・ 民生委員はリストを渡されるが、10年間更新されていない。災害時に情報は与えられるが、どのようにしたらよいか示されない。
- ・ 個別避難計画は令和4年10月に返事をした人が対象であり、漏れている人がいるので、対応してもらいたい。

## 「デジタル地域通貨OTACOについて」

### ■サブテーマ

- ① 普及促進における課題について
- ② SDGsポイントについて
- ③ あったらいいと思う新たな機能について

### ■参加議員

【司会進行】松川 翼

【Aテーブル】◎大川陽一／青木雅浩／仁藤すぐる

【Bテーブル】◎町田正行／谷之木勇作

※ ◎はテーブルリーダー

### ■テーブルごとの主な意見【テーブルリーダーの報告より】

#### 【Aテーブル】

##### ① 普及促進における課題について

- ・ リフォーム促進はOTACOになったら特に高齢者が使わない可能性がある。
- ・ 10代に使用して頂くことを考えるとTIKTOK動画でのPRを実施する。
- ・ ポイント付与機能の実施、特に年配の方の歩数によるポイント等を実施する。
- ・ サンダーズショップでのグッズ購入時の特典を実施する。
- ・ 名刺にQRコードを掲載し、OTACOのお知らせが届くようにする。
- ・ 市営駐車場の支払いが出来るようにする。
- ・ OTACO関連の土産（せんべい等）を設定する。
- ・ OTACOのアンテナショップを設置する。
- ・ OTACOのマスコットを作り公募する。
- ・ 広報の一面にQRコードを掲載する。
- ・ リーフレットやポスターを使用した周知を展開する。

##### ② SDGsポイントについて

- ・ リサイクルポイント（ゴミの分別）付与を実施する。
- ・ ゴミステーションで高齢者の分を持ってあげたらポイント付与する等の取り組みを実施する。
- ・ 他市から移住者へのポイント支給を実施する。

- ・ サンダーズとコラボによるポイント付与を実施する。
- ・ ふるさと納税へポイント活用を検討する。
- ・ 補助金への還元が出来るようにする。
- ・ 観光地のスタンプラリーのポイント、七福神巡りへのポイントを付与する。
- ・ スーパーだけでなく、育児、介護、医療関係においてポイント使用出来るようにする。

### ③ あったらいいと思う新たな機能について

- ・ 尼崎市の取り組みを参考に、尼崎市ポイント還元、ポイント付与出来るようにする。
- ・ 尼崎市の取り組みを参考に、SDGsポイントの獲得数に応じて、アプリ内の色が変わるようにする。
- ・ 健康増進のために歩数計との連携を実施する。
- ・ 太田市独自の機能を開発する。
- ・ ペイペイと同様の機能を持たせるようにする。

## 【Bテーブル】

### ① 普及促進における課題について

- ・ 給与自体の振り込み（ポイントプラスして）をOTACOポイントで可能にすることで、企業側にもメリットがある。それには、金額の上限を上げる必要がある。
- ・ 賃貸料金のOTACOでの引き落としが出来るようにする。
- ・ プレミアムだと一時的なので、ポイントバック、税金等でのメリットがほしい。
- ・ ペイペイを目指す必要はないが、近づける必要がある。
- ・ 運動公園等の通信環境が悪いので（wifi環境）、通信環境を変えていく必要がある。

### ② SDGsポイントについて

- ・ その場でのポイント還元が出来るようにする。
- ・ 清掃や交通安全運動に参加した方にポイントを付与する。
- ・ とりせん等のように、資源回収によるポイント付与の取り組みを太田市としても実施する。
- ・ 尼崎市の様に、ポイント数に応じて色が変わる等の遊び心が目に見えて分かる取り組みを実施する。
- ・ 献血時にポイントを付与する。血液不足顕著なので両方へのメリットがある。又、医療費の削減、健康チェックにもなる。

③ あったらいいと思う新たな機能について

- どんなサービス、キャンペーンをやっているか等のお知らせ機能を追加する。
- 自分のお気に入りに登録している店舗からのお知らせがくる機能を追加する。
- LINEとの連携で実施した店舗独自のサービスキャンペーンの継続とお知らせ機能を追加する。
- 女性が利用することが多い為、女性目線での様々な支払い機能、ポイント付与が出来るようにする。
- チャージの度に常にポイント（消費税分又は1%、2%でも）が自動的に付与されるようにする（プレミアムポイント下げてでも）。
- スポーツ施設でのOTACOの使用が出来るようにする。
- 市役所でのOTACO使用拡大する（窓口、税金）。
- 若者向けにOTACOの使い方を学校や子供施設で説明等を実施しPRの機会を増やし、長い目で見て活用者数を増やしていく。
- 20代が少ないので、太田市だけでなく東毛地域で連携に取り組んでいく。

2024.1.13 (土)

当日の様子

議会報告  
(オープニング)



○行政のデジタル化について



○スポーツを通じたまちづくりについて



○介護サービスについて

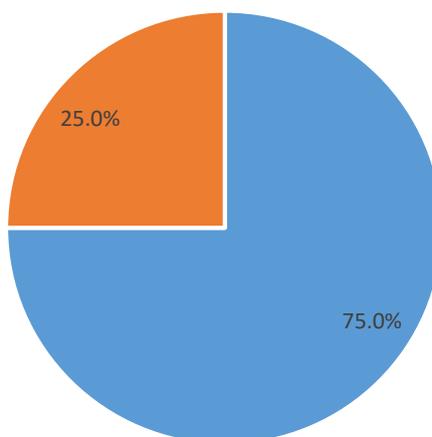


○デジタル地域通貨 OTACO について

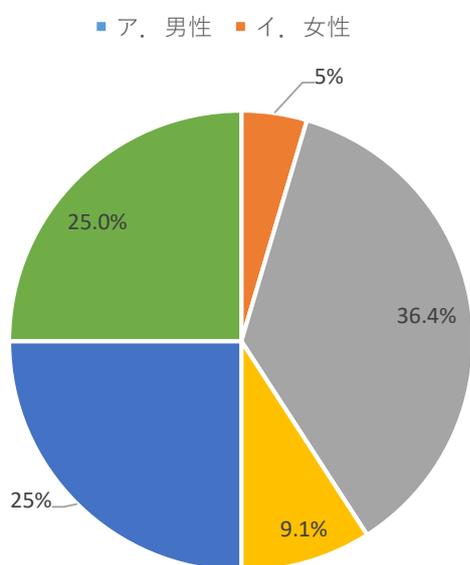


# 令和5年度 議会報告会・意見交換会アンケート【結果】

性別	
ア. 男性	33
イ. 女性	11



年齢	
ア. 20代	0
イ. 30代	2
ウ. 40代	16
エ. 50代	4
オ. 60代	11
カ. 70代以上	11

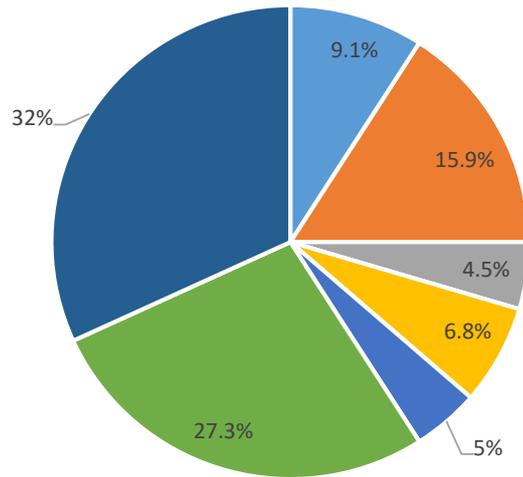


お住いの地域	
太田	5
九合	4
沢野	2
蕪川	4
鳥之郷	4
強戸	2
休泊	3
宝泉	9
尾島	1
藪塚	5
市外	3



意見交換会をどのように知りましたか。

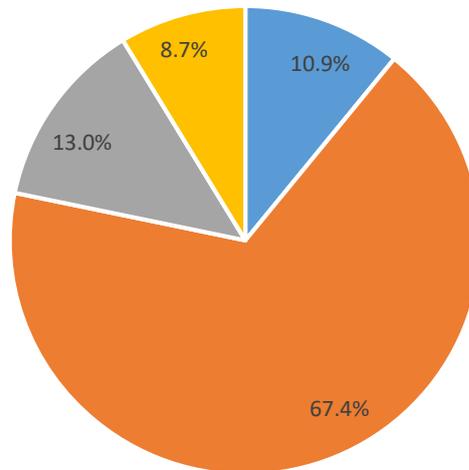
ア. 市議会だより	4
イ. 行政センターだより	7
ウ. チラシ	2
エ. 市議会ホームページ	3
オ. 広報課 X	2
カ. 議員の紹介	12
キ. その他	14
スポーツ推進員事務局	
スポーツ担当課	
情報管理課	
高野議員の X	
上司のすすめ	
商工会議所	



- ア. 市議会だより
- イ. 行政センターだより
- ウ. チラシ
- エ. 市議会ホームページ
- オ. 広報課 X
- カ. 議員の紹介
- キ. その他

意見交換会への参加を決めた理由。

ア. 行政に参加したかった	5
イ. テーマに関心があった	31
ウ. 発言したい意見があった	6
エ. その他	4



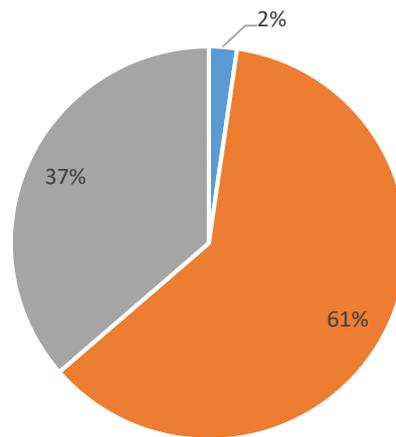
- ア. 行政に参加したかった
- イ. テーマに関心があった
- ウ. 発言したい意見があった
- エ. その他

(その他の理由)

- ・ デジタル化の意識がどの程度か？また、どの様なことを今後推進するか？など
- ・ 上司のすすめ
- ・ 紹介があったので
- ・ 市民がきちんと声に出すことをもっとすべきと思った。自分の住むまちへの関心を深めるため。
- ・ 議員さんからの誘いだったので

グループディスカッションの時間について。

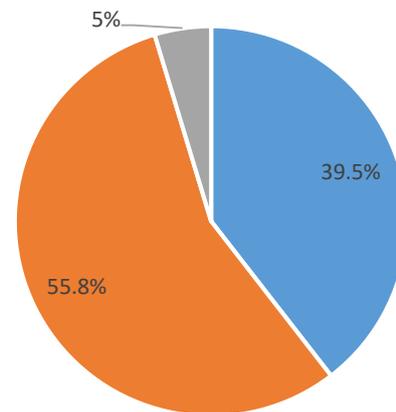
ア. 長い	1
イ. ちょうどいい	27
ウ. 短い	16



■ ア. 長い ■ イ. ちょうどいい ■ ウ. 短い

グループディスカッションの満足度について。

ア. 満足	17
イ. 普通	24
ウ. 不満	2



■ ア. 満足 ■ イ. 普通 ■ ウ. 不満

(満足の理由)

- ・市議会の皆様と親しく意見交換をさせて頂き勉強になりました。スポーツ行政に力を入れる事は太田市の元気の源になると思います。
- ・色々参考になったから
- ・相談員として現場におられる方々の生の声が聞けた。担当議員さんの見識に触れられた。
- ・とても良いディスカッションの場でした。意見を伝えることが出来ました。
- ・市議会議員の方（初めてお会いする方）と話ができてよかったです。
- ・色々な職種の方の話が聞けてとても貴重な時間を過ごさせていただきました。
- ・いろいろなお話を聞くことが出来て面白かったです。ありがとうございました。

(不満の理由)

- ・一般市民が多いと思っていたが、介護の会社の方が多くて驚いた。サービスを受ける側ではなくサービスする側の意見が多かった。一般市民と業者の方とはわけて欲しかった。
- ・発言が特定の出席者に偏っていて、その内容も個人的な思いが多かった印象を受けた。すべての出席者から意見を引き出す運営が必要と感じた。

今後、グループディスカッションで取り上げたいテーマ。

- ・地域活動への参加人数を増やす事の課題と改善点について。
- ・スポーツ関連の中のサブテーマを増やしたい。「スポーツと怪我との関係」等
- ・地域のスポーツ推進
- ・観光、環境
- ・引き続きデジタル化について。
- ・小児科や病院の待ち時間の問題について。
- ・具体的なデジタル化へ向けてのテーマをしぼってはどうか？
- ・市職員の生の声を聞いてみたい。
- ・交通渋滞、外国人労働力、少子化
- ・市議の方々の認知度について
- ・今後期待する行政サービスについて
- ・市内の商店街の活用や、開業したくなる仕組みについて。
- ・防犯について。住む上でとても気になっています。
- ・引き続き介護、福祉について

市議会について知りたい情報や期待すること。

- ・テーマが少し大きいと思いました。もう少ししぼってもよいのではないのでしょうか？
- ・合併した後の方が地域の人達との交流が少なくなったと思います。議員さんを通して考えてほしいです。
- ・テーマごとの市議会のY o u T u b e
- ・教職員の給与をUPしてもっと多くの人に教職員になって欲しい
- ・行政の効率化レベル（他市と比べて）
- ・市政の長期、中期的な方向性をデジタルを活用して分かりやすく知りたい。
- ・介護事業所のインタビューなどぜひやって下さい！！若い人が働きたい！！と思ってもらえるような取組を期待してます！

その他市議会に対するご意見

- ・健康第一に皆様のご活躍を祈念します。
- ・今後共前向きにサポートしたい。
- ・本日はよい機会を頂きありがとうございました。
- ・このような場をもっと沢山つくって下さい。より広い市民の意見を受け、聞くために。
- ・議会傍聴したいと思っているが、平日のためむずかしい。